

CARIMALI

SilverAce Plus

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意	2
仕様と各部の名称	5
付属品.....	8
ご使用の準備	9
電源の立ち上げ.....	11
メニューの抽出.....	13
電源の立ち下げ.....	15
マシンのクリーニング.....	16
毎日の清掃 マシンのクリーニング 日々の清掃	17
毎日の清掃 マシンのクリーニング オールインワンクリーニング	20
週一回の清掃 マシンのクリーニング パウダー用ミキサー部の手動清掃	23
月一回の清掃 マシンのクリーニング コーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターの清掃	25
アラーム表示.....	28
トラブルシューティング	31
消耗品について	33
保証とアフターサービスについて	36
保証書	37

お客様へ

この度は、当社の全自動エスプレッソコーヒーマシン「SilverAce Plus」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みにになり、内容を十分ご理解ください。

このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。

このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です。必ずお読みください。)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品（電源コードやプラグを含む）の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行わないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。（但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。）
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。（電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。）
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや本装置を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。

- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時にはコードやプラグには触れず、また作動をさせないでください。
- 付属品以外のもを使用しないでください。 火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをオフにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。 火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置および据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。

警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。

注意

- 設置および据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は屋内の平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は 10～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから 10 cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には 0.5 メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。圧力が高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、スケール抑制出来る浄軟水器の設置をお奨めします。
- 浄軟水フィルターは定期的に変換してください。

操作を行なう時の注意事項

警告

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの位置に注意してください。
離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンが作動中にホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- ミルク系統の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。
また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。
抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒー豆用ホッパーは定期的内部をよく清掃してください。放置しておくとも雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆が入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。
無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 機器にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。
メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないままでもマシンを放置しないでください。
凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。
- 機器の清掃には、アルコールなどの薬品は使用しないでください。

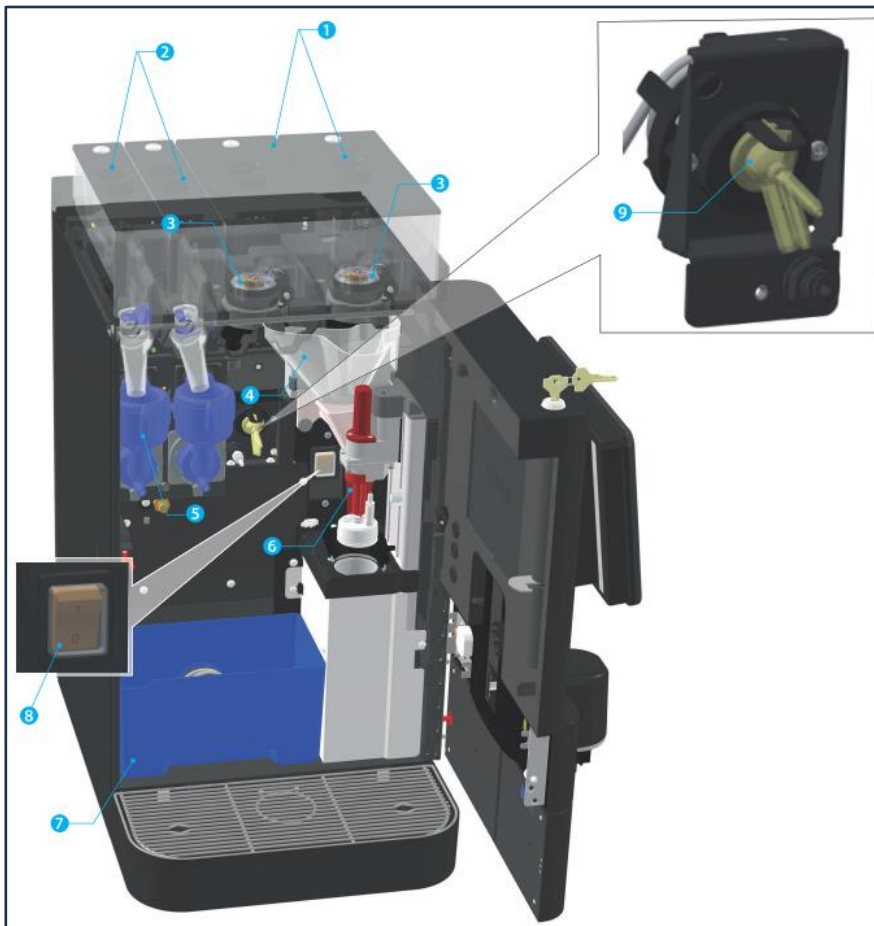
仕様と各部の名称

仕様	
幅 (W)、高さ (H)、奥行き (D)	376、741.5、556 mm
満水重量 (kg)	47 kg
抽出口高さ	80 – 200 mm
コーヒー豆 ホッパー	2 × 0.5 kg
パウダーキャニスター	2 × 0.5 kg
生乳抽出システム	CARIceam
コーヒーカス箱容量	50
コーヒーボイラー容量	1 .0L
スチームボイラー容量	1 .0L
ユーザーインターフェース	10in タッチスクリーン
電圧	単相 200 V 50/60 Hz
電気容量 / 電流	3150 W / 15.75 A
電源コード	2 m
水道圧	0.1 – 0.5 Mpa
給水接続方法	15A バルブ止め
排水接続方法(排水直結を行う場合)	20A 排水ホース

各部の名称

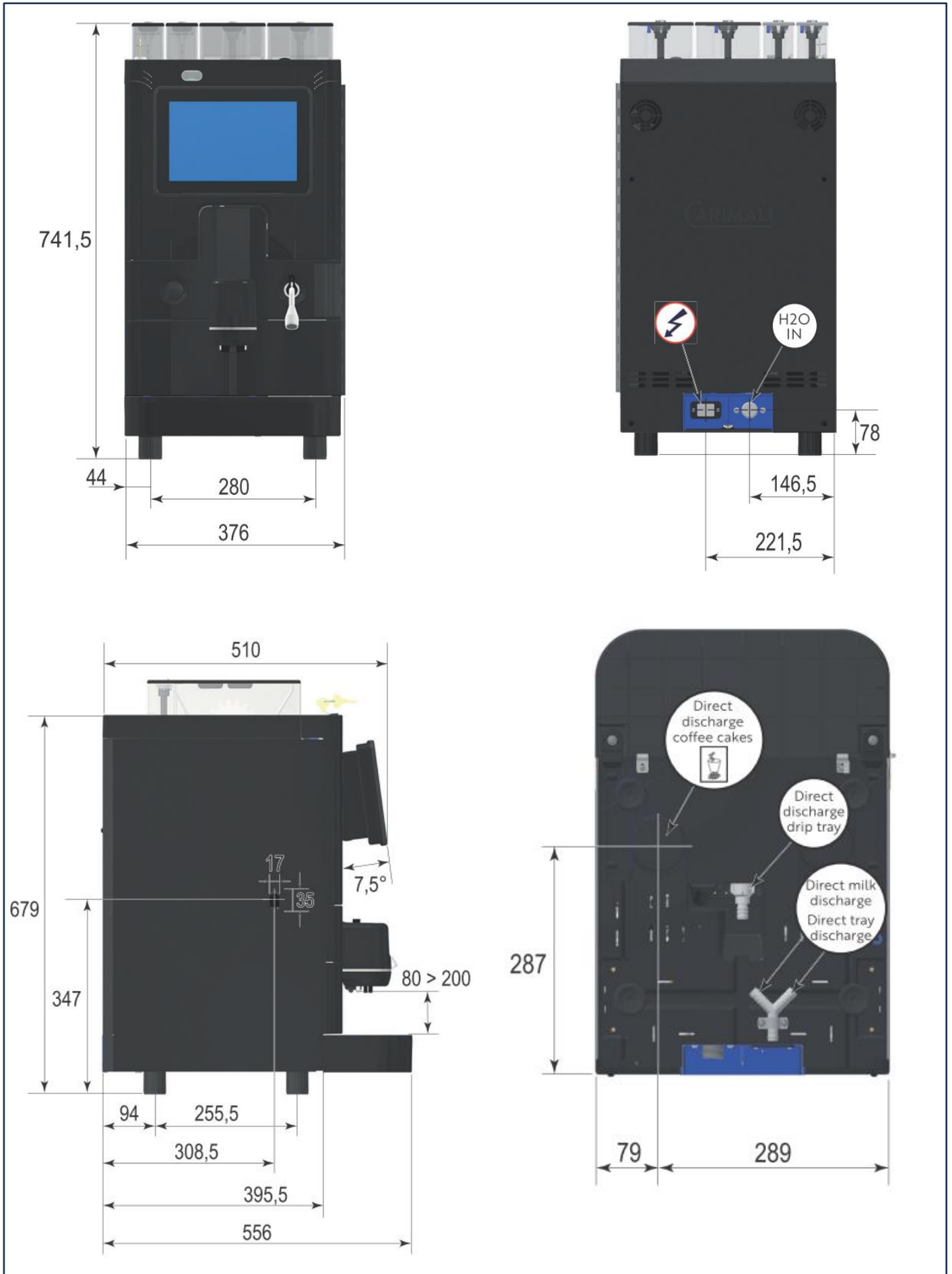


1	原料コンテナ	7	給湯ノズル	13	パネル留めネジ
2	前面ドアキー	8	スチームワンド	14	電源コネクタ差込み口
3	操作パネル	9	コーヒー吐出口	15	給水接続口
4	前面上扉	10	排水トレイ	16	保冷库接続ケーブル差込み口
5	ミルクチューブ接続口	11	前面下扉		
6	高さ調節式抽出口	12	換気用スリット		



1	コーヒー豆ホッパー
2	パウダーキャニスター
3	コーヒーグラインダー
4	コーヒーシューター
5	パウダー用ミキサー部
6	コーヒー抽出ユニット
7	コーヒーカス箱
8	主電源スイッチ
9	カリミルカー

寸法図



付属品

名称	個数
電源コード	1
給水ホース一式	1
排水ホース一式	1
前面ドアキー (予備 1 個)	2
コーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターロックキー (予備 1 個)	2
清掃用ブラシセット (4 本セット)	1
清掃用ハケ	1
ミルクライン洗浄用ボトル	1
コーヒーマシンクリーナー (20 錠サンプル)	1
ミルクチューブクリーナー (200ml サンプル)	1
取扱説明書	1

ご使用前の準備

1. マシンの置き場所

- ① マシンは、水平で、水に濡れても問題のない所を指定して設置ください。
- ② マシンは、オーバーヒートを防ぐために涼しい所(10~35℃)に設置した上で、マシン背面の換気用スリットをふさがないように注意してください。

2. 給水

給水ホースの接続を確認し、給水の元栓を開けて水を供給してください。

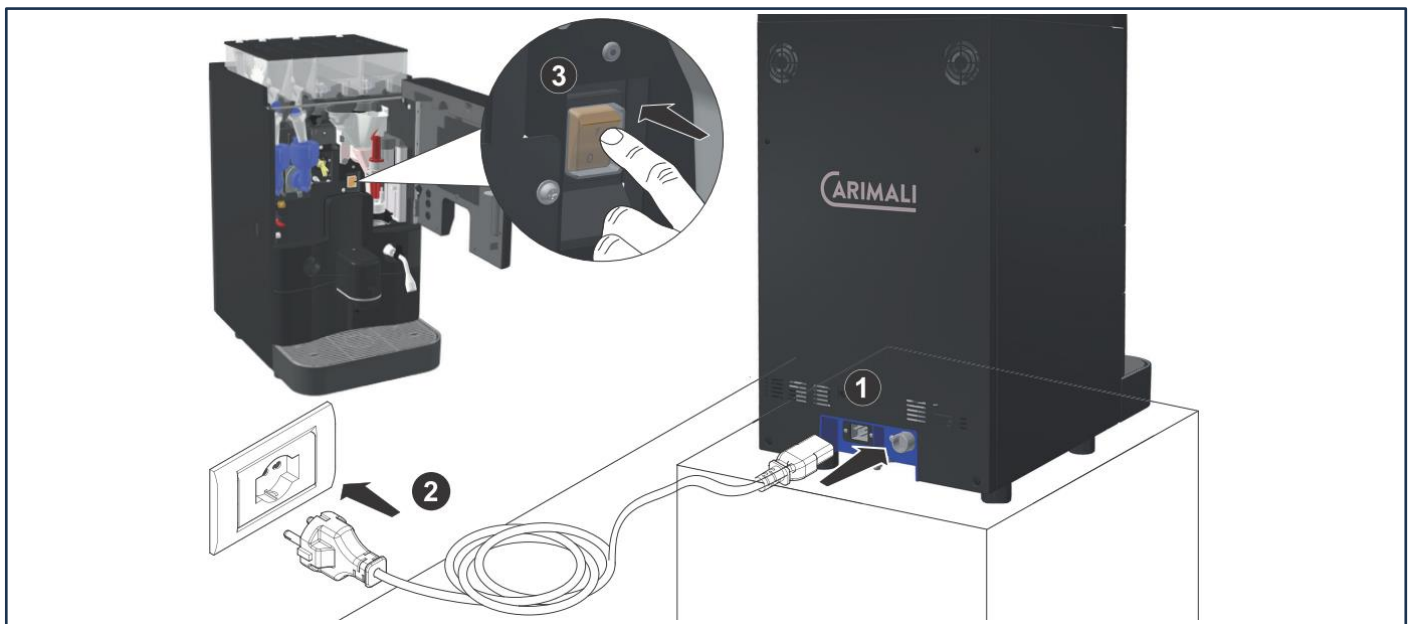
3. 電源接続

マシンを電源に接続する前に電源スイッチが「0」であることを確認してください。

- ① 電源コネクタプラグをマシンの電源ソケットに完全に差し込みます。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。必ずアース接続してください。

⚠ 注意： 単相 200V AC、定格 15A 以上の電源を単独使用し、それ以外の電源では使用しないでください。
本製品の電源プラグの形状は、使用される国や地域によって異なります。
ご使用の際は、適切なコンセント形状に対応したプラグまたは変換アダプターをご用意ください。

- ③ マシンの電源スイッチを「1」位置へ切り替えてマシンの電源を入れます。



4. 原料の補充

- ① 原料をコーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターへ入れる前に青いロック保護“A”を閉じてください。
- ② コーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターを閉じる前に青いロック保護“A”を開けてください。
- ③ ロックキーを使用してコーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターを閉じます。
機械の停止を防ぐため適切にコーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターを閉じてください。
- ④ 事前に電源 ON した冷えたミルククーラーにミルクをセットし、ミルクチューブ先端をミルクへ差し込んでください。
使用するミルクは成分無調整のミルクをおすすめします。

⚠ 注意： コーヒー豆ホッパーには、粉コーヒーやフリーズドライコーヒーを入れないでください。
グラインダーの故障につながります

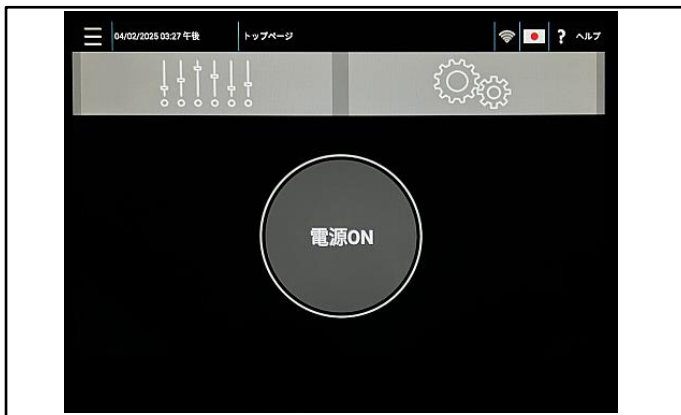


電源の立ち上げ

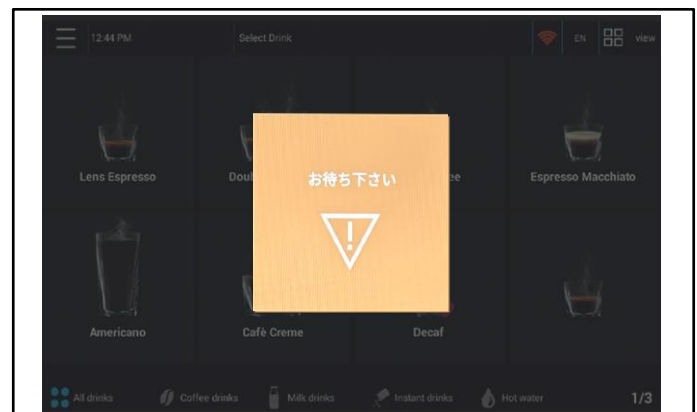
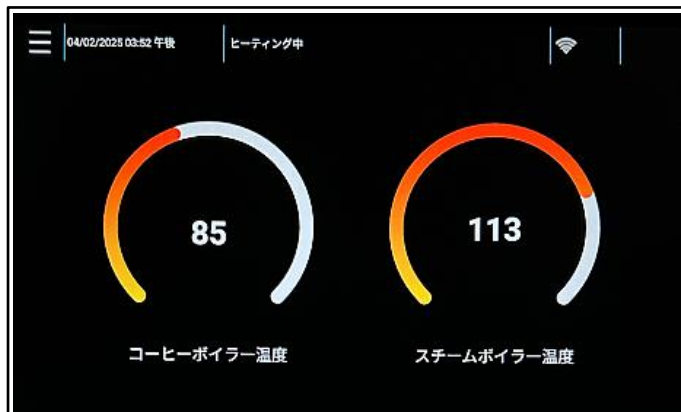
1. 電源の投入

- ① マシンの電源スイッチを「1」位置へ切り替えてマシンの電源を入れます。
 ファームウェアのロードが完了して電源 ON 画面が表示されるまでお待ちください。
 電源 ON をタッチして、メニュー画面に進みます。

電源 ON 画面で約 1 分放置すると Auto Power ON が起動します。
 30 秒のカウント後に自動でメニュー画面に進みます。
 確認をタッチするとカウントを待たずにメニュー画面に進みます。
 キャンセルをタッチすると電源 ON 画面で待機します。



※コーヒーボイラーとスチームボイラーが抽出に必要な温度に達していない時に加熱と待機画面が表示されます。
 この画面は電源を入れた時や抽出によってボイラーの温度が低下した時に表示されます。

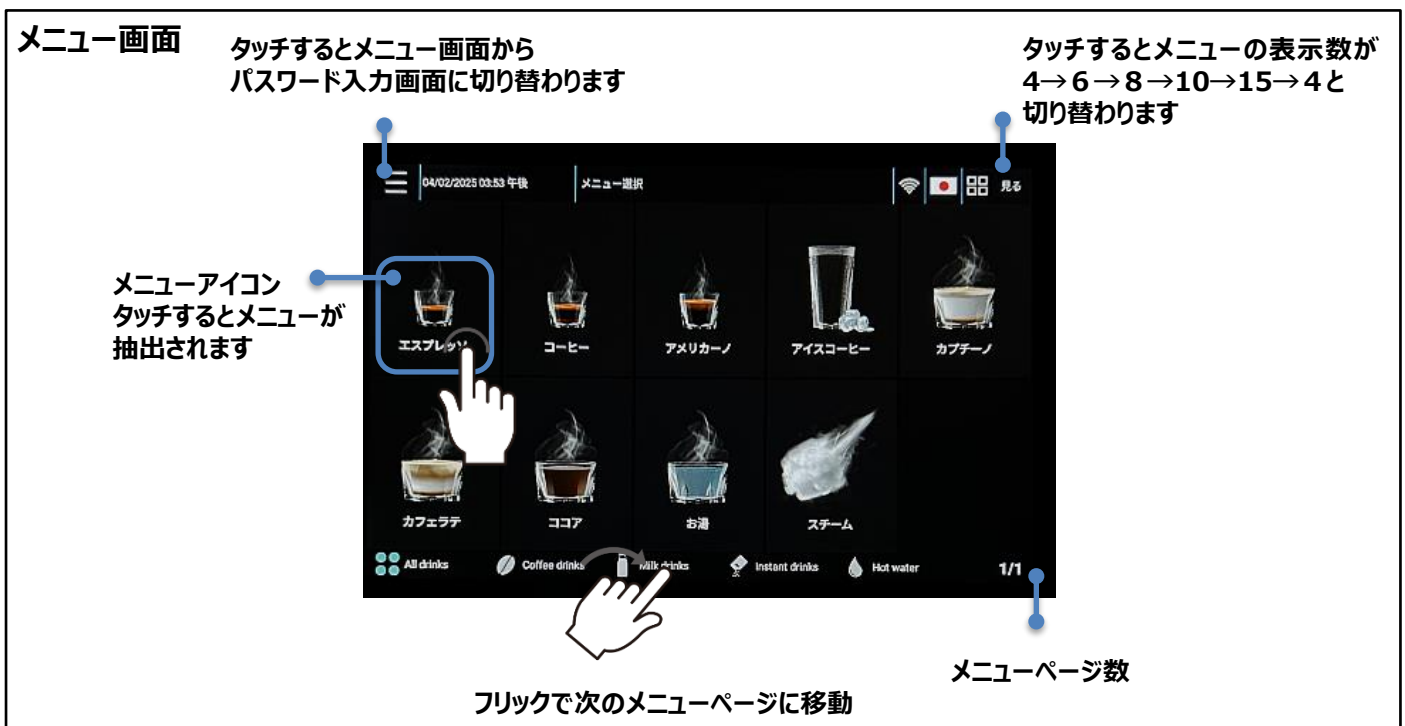
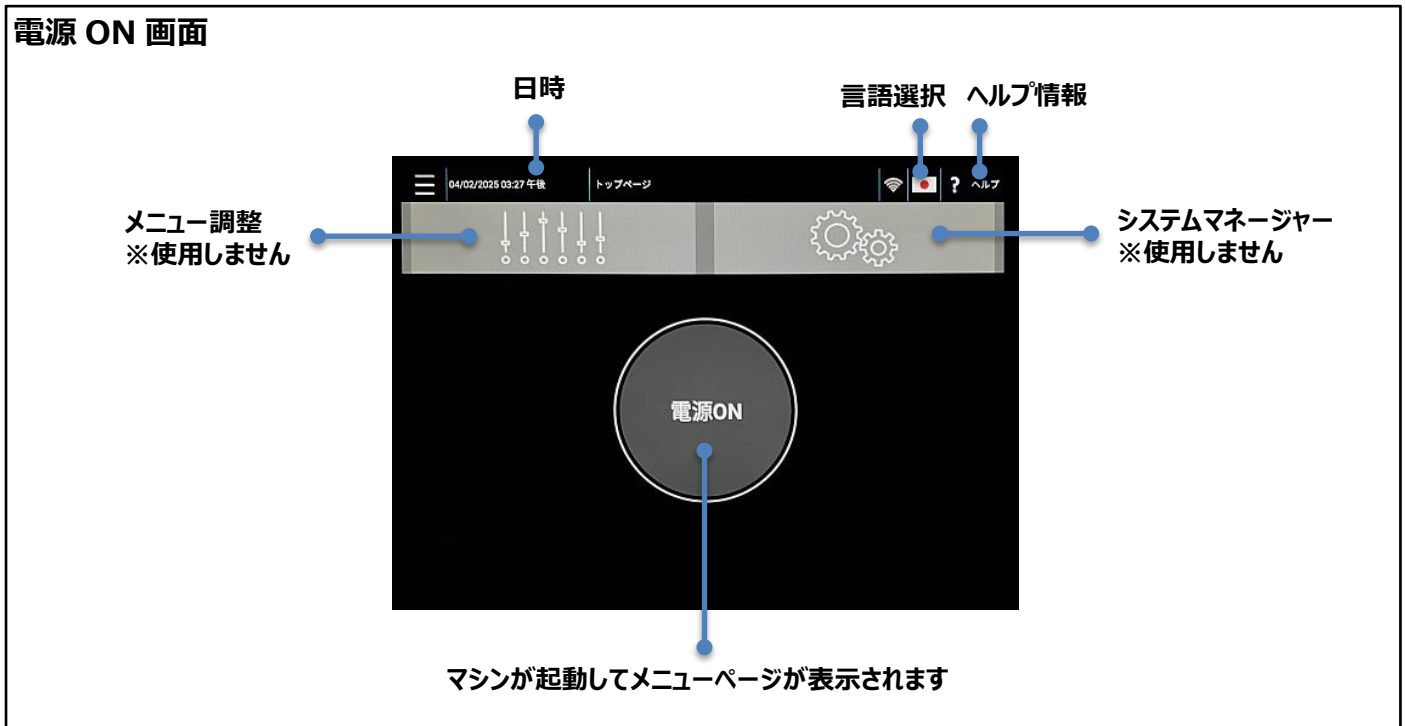


このマークは表示されているメニューが加熱中で抽出が出来ないことを示しています。

2. 操作パネル(タッチスクリーン)の操作

このマシンは様々な機能を操作する為のタッチスクリーンパネルを備えています。

操作パネルをタッチ(タップ)やフリック操作することで操作が可能です。

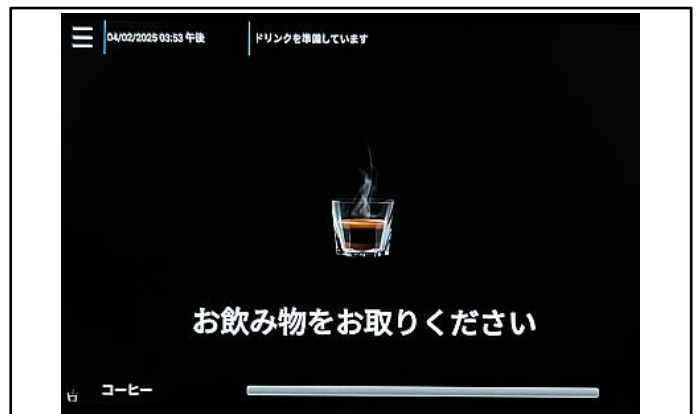
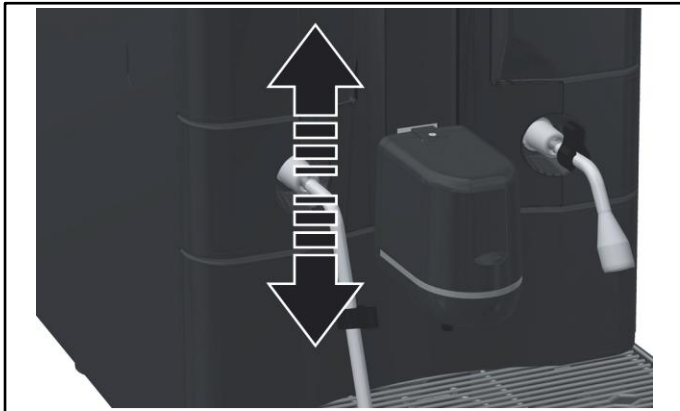


メニューの抽出方法

1. コーヒーメニュー、パウダーメニュー、ミルクメニューの抽出

メニュー画面で飲み物のアイコンをタッチすると設定されているレシピを抽出することができます。

- ① 抽出口の高さをカップに対して適切な高さにしてください。
- ② 希望するメニューのアイコンをタッチしてください。
- ③ 抽出が開始され、進行バーが表示されます。途中でキャンセルしたい場合は“X アイコン”をタッチしてキャンセルすることが可能です。
- ④ 「お飲み物をお取りください」の画面が表示されてから、カップを取り出します。



2. スチームの使用

泡立ちミルクの作成や冷たい飲み物を温める時に使用します。

- ① スチームノズルの予熱とノズルに溜まった水滴を除去するため、カップや布巾の上でスチームのメニューアイコンをタッチしてください。
- ② スチームが出ることを確認した後、キャンセルをタッチして止めます。
- ③ スチームノズルを飲料の入った容器に入れてください。
- ④ スチームのメニューアイコンをタッチしてください。設定されている時間、スチームを噴射し続けます。
- ⑤ 使用後はスチームノズルに付着した液体を、水で絞った清潔な布で清掃してください。
その後、スチームの噴射を行い、ノズル内に付着した液体を排出してください。

- ⚠ 注意：** スチームノズルの予熱とノズルに溜まった水滴を除去する時に水(お湯)が出ますのでヤケドに注意してください。
スチームノズルの使用直後はスチームノズルが高温になりますのでヤケドに注意してください。
スチームノズルの使用後は湿った布でよく拭きスチームの空だしを行ってください。
スチームノズル内に詰まりが発生し異臭や故障の原因になります。

3. 熱湯の使用

紅茶などの少量のお湯を使う場合にします。

お湯アイコンをタッチすると給湯ノズルから設定している量のお湯が出ます。




途中で止めたい場合は、キャンセルをタッチして止めます。

⚠ 注意： 給湯ノズルの使用直後は給湯ノズルが高温になりますのでヤケドに注意してください。

4. コーヒーカス箱満杯表示


コーヒーの抽出を 50 回カウントするとタッチディスプレイに ES コーヒーカス箱が満杯ですと表示されます。

下記の手順でコーヒーカス箱内のコーヒーカスを廃棄してください。

<p>抽出口を上に向けて、給湯ノズルとスチームノズルを 90°外側へ回転させ、前面下扉を開いてください。</p>	
<p>コーヒーカス箱を引き抜き、コーヒーカスを廃棄します。</p>	
<p>約 10 秒間隔を開けた後、コーヒーカス箱を元の位置に戻して、前面下扉を閉めてください。</p>	

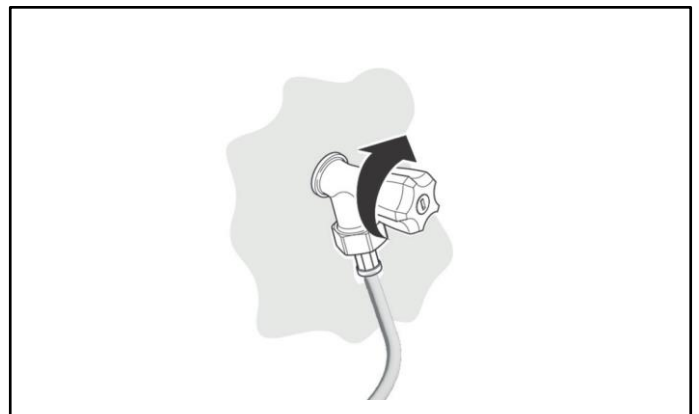
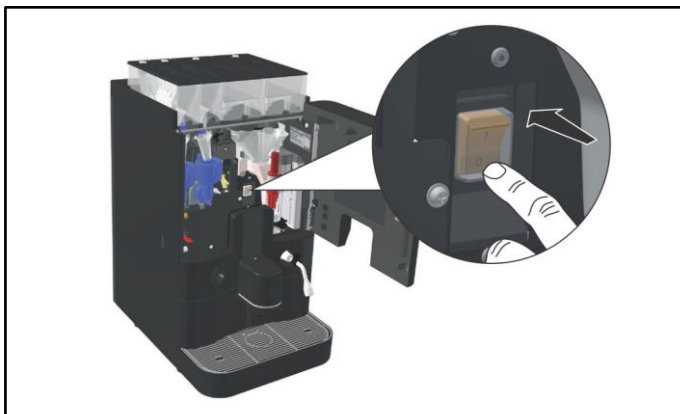
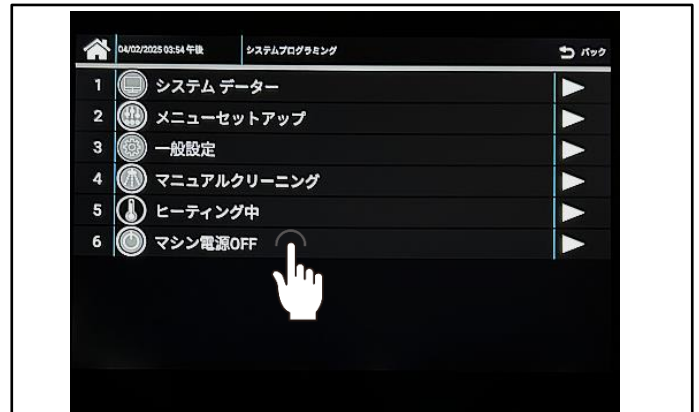
電源の立ち下げ

1. 電源 OFF

- ① メニュー画面から左上の  アイコンをタッチしてください。
- ② マシンのマシン電源 OFF アイコンをタッチします。
- ③ マシン内部の電源スイッチを「0」にします。
- ④ 水道の元栓を閉めます。

水の元栓の形状は設置現場ごとに異なります。また、元栓の位置の把握および管理はお客様の責任となります。

- ① マシン OFF 後のミルクはミルククーラーから取り出し冷蔵庫に保管をしてください。



マシンのクリーニング



コーヒー/ミルク/パウダー類のメニューを抽出した後は、各抽出経路の内部が汚れてきます。
 毎日のお手入れは、マシンのトラブル発生（抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等）を減少させます。
 常にマシン状態を良好に保ち、安定したメニューを抽出するために必要ですので、実施してください。

⚠ 注意事項

食器洗浄機、乾燥機、アルコールの使用はやめてください。故障の原因になります。
 ブルーマチックジャパン指定のマシンクリーナーをご使用ください。間違った洗浄剤を用いるとマシンに悪い影響を与える恐れがあります。
 マシン洗浄プログラムを中断しないでください。洗浄の品質が保てなくなります。

クリーニング項目	種別	頻度	内容
操作パネル/マシン本体の清掃	手動	毎日	タッチスクリーン/マシン本体の拭き掃除
カス箱の清掃	手動	毎日	付着した汚れの清掃
排水トレイの清掃	手動	毎日	付着した汚れの清掃
オールインワンクリーニング	半自動	毎日	全抽出経路のクリーニング
パウダー用ミキサー部の清掃	手動	一週間に一回	付着した汚れの清掃
コーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターの清掃	手動	一月に一回	付着した汚れの清掃

クリーニングの為に準備していただく消耗部品

	コーヒーマシンクリーナー（100錠）
	ミルクチューブクリーナー（1.0L）

⚠ 注意事項

※ 洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用をしてください。


- 飲み込んだ、口に含んでしまった場合
 - 口をすすぎ無理に吐かせないでください。
 - 直ちに医師に相談をしてください。
- 皮膚や髪に付着した場合
 - 付着した皮膚を速やかに流水又はシャワーで速やかに洗浄してください。
 - 異常がある時は、医師に相談をしてください。
- 砕けて粉になったクリーナーを吸入した場合
 - 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
 - 但し、大量に吸引した場合は、直ちに医師に連絡をしてください。
 - 異常がある時は、医師に相談をしてください。

※ 医師に相談・掛かる場合


医師の成分把握・理解のため、必ず製品パッケージを持参してください。

1. 操作パネル/マシン本体の清掃

操作パネルを清掃する前にソフトウェアを専用の待機モードにしてください。

- ① 電源 ON 画面の電源 ON をタッチして、メニュー画面にしてください。
- ② メニュー画面から左上の  アイコンをタッチしてください。
- ③ パスワード「11111」を入力して OK をタッチします。
- ④ マニュアルクリーニングをタッチします。

操作パネルのクリーニングをタッチすると 15 秒間反応しなくなり、操作パネルの清掃ができます。

 **注意** : アルコールを使用しないでください。表面劣化の原因になります。



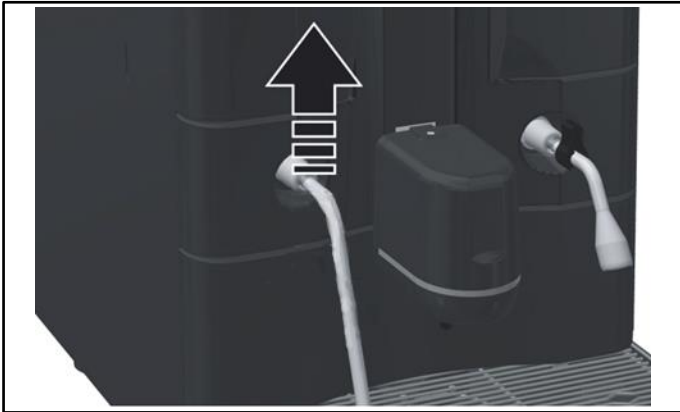
マシン本体の外装を研磨剤の入っていないスポンジまたはやわらかい布で中性洗剤を使用して清掃します。十分にすすぎ、やわらかい布で乾かします。



2. カス箱の清掃

- ① 抽出口を上へ上げてください。
- ② 前面扉下を開けて、コーヒーカス箱を引き出してください。
- ③ コーヒーカスを廃棄した後、水や中性洗剤を使用して清掃してください。
必要に応じて残留物をブラシで取り除いてください。
- ④ 水ですすぎ、細菌の繁殖を防ぐために乾かしてからマシンに戻してください。

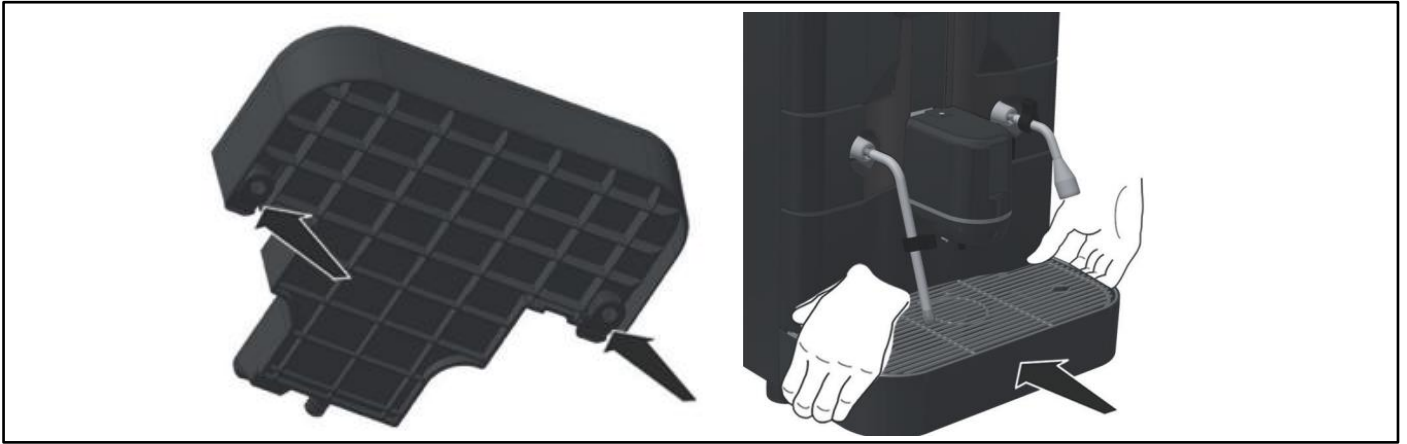
⚠ 注意： 食器洗浄機、乾燥機の使用はやめてください。変形、故障の原因になります。



3. 排水トレイの清掃

排水トレイを外す時は排水トレイ裏側のロックを押して引き抜いてください。

⚠ 注意： ロックを押さずに引き抜くと変形、故障の原因になります。

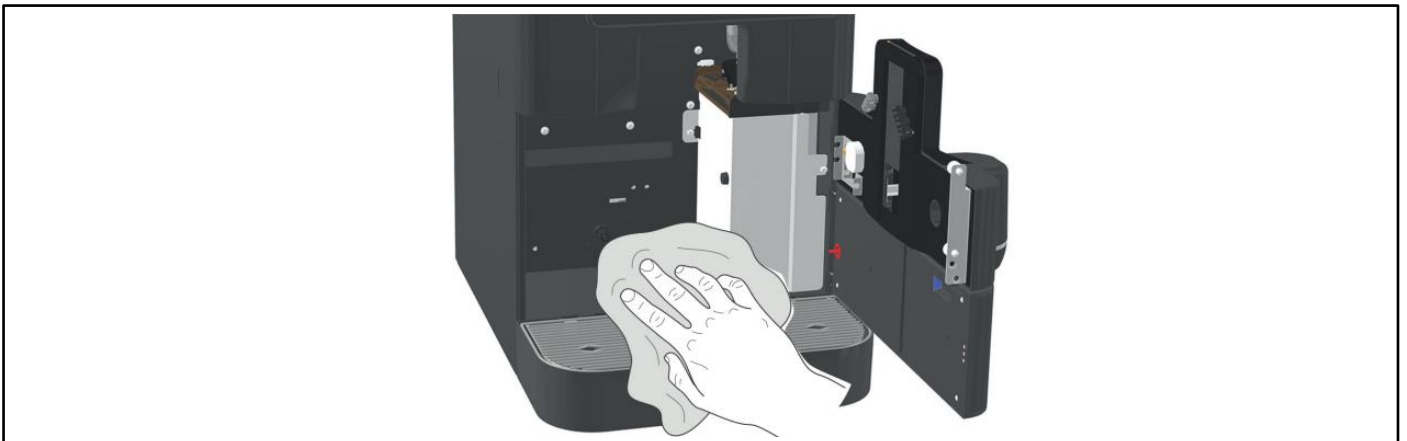


- ① 水と中性洗剤を使用して清掃してください。
- ② 必要に応じて残留物をブラシで取り除いてください。
- ③ 排水口が詰まっていないことを確認してください。
詰まっていると排水トレイが満水になり、機械が動作しなくなる可能性があります。
- ④ 水ですすぎ、細菌の繁殖を防ぐために乾かしてからマシンに戻してください。
マシンに排水トレイを差し込む時は奥まで差し込んでください。

⚠ 注意： 食器洗浄機、乾燥機の使用はやめてください。変形、故障の原因になります。

4. マシン内部の清掃

コーヒーの粉が堆積するため、コーヒークラス箱を外した内部をやわらかい布で中性洗剤もしくは水を使用して清掃してください。



このクリーニングはマシンに搭載している全ての抽出ユニットの自動清掃を行うために使用します。

- ◆ ミルク抽出システムの清掃
- ◆ パウダー用ミキサー部の清掃
- ◆ コーヒー抽出ユニットの清掃

営業時間の終了時など一日一回実施してください。


⚠ 注意事項


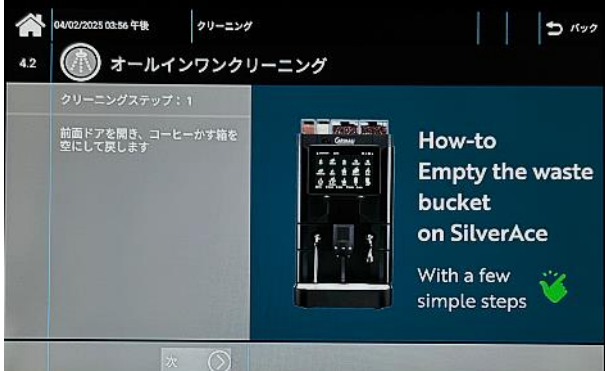
洗浄時にマシンより約 3500cc の廃液が出ます。

排水を直結していない環境では廃液が入る容器をご用意ください。

システムの設定でパウダー等を OFF している場合は、クリーニングは自動で次の工程に進みます。

クリーニング中に十分な給水が無いとクリーニングは停止します。

- ① 電源 ON 画面の電源 ON をタッチして、メニュー画面にしてください。
- ② メニュー画面から左上の  アイコンをタッチしてください。
- ③ パスワード「11111」を入力して OK をタッチします。
- ④ マニュアルクリーニングをタッチします。
- ⑤ オールインワンクリーニングをタッチします。

<p>1</p>	<p>清掃に必要な部材を準備してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コーヒーマシンクリーナー ◆ ミルクチューブクリーナー ◆ 清掃用ハケ 	
<p>2</p>	<p>オールインワンクリーニングを開始します。 ディスプレイの表示に従って操作してください。</p> <p>クリーニングステップ：1 前面扉下を開けて、コーヒーかす箱を空にして戻してください。 次をタッチします。</p>	

<p>3</p>	<p>クリーニングステップ：2 前面上扉をドアキーで開けて、クリーニングタブレットを投入する前にグループユニット周りを清掃ハケでカス箱に落とします。</p>	
<p>4</p>	<p>クリーニングステップ：2 クリーニングタブレットを1個投入して、前面上扉を閉めます。 閉めると次が表示されます。 次をタッチして続行します。</p>	
<p>5</p>	<p>クリーニングステップ：3 ミルク抽出システムの洗浄液を準備します。 30mlのミルクチューブクリーナーを ミルクライン洗浄用ボトルに入れます。 生乳からミルクチューブを抜き、洗浄容器に入れます。 次をタッチして続行します。</p> <p>排水を直結していない環境の場合、 高さ調節式抽出口下に廃液が入る容器を 置いてください。 約 3500mlの廃液が出てきます。</p>	

<p>6</p>	<p>クリーニングステップ：3～6 ミルク抽出システム、パウダーミキサーの清掃、 コーヒー抽出ユニットの清掃の順番で清掃しています。</p> <p>クリーニング完了後、開始時の画面に戻り、 終了します。</p> <p>※クリーニング時に飛び散った抽出口周辺の汚れは きれいな布などで拭き取ってください。</p>	
----------	---	--

クリーニングリマインダー機能について

マシンが稼働した日にクリーニングが実施されていないとクリーニングリマインダー画面が立ち上がり、クリーニングをお知らせします。
デフォルトのマシン設定では 23 : 00 に設定されています。

0:00～23:00 までマシンが稼働して、22:59 までにクリーニングが実施されないと、翌日マシン立ち上げ時に
クリーニングのお知らせを行います。

クリーニングを実施していればクリーニングリマインダーは表示しません。

<p>スキップをタッチするとメニュー画面に戻ります。 電源を入り切りすると再度クリーニングリマインダーが 表示されます。 その場合はスキップ表示がなくなり確認のみになります。</p> <p>確認をタッチするとパスワードを要求されます。 パスワード「11111」を入力して OK をタッチします。 オールインワンクリーニングに進みます。</p>	
---	--

オールインワンクリーニングのキャンセル方法について

クリーニングステップ：1 の時に右上のバックをタッチするとパスワードを要求されます。

パスワード「33333」を入力して OK をタッチします。

システムプログラミング画面に戻ります。

⚠ 注意事項

パウダー搭載仕様のマシンのみ

清掃を行う前に 13 ページ「電源の立ち下げ」に従って機械の電源を切ってください。

そして主電源スイッチを「0」位置にします。

<p>1</p>	<p>前面ドアキーを開けて、前面上扉を開けます。 清掃を行うミキサーのチューブを引き抜きます。</p>	
<p>2</p>	<p>パウダーシューターの扉を閉めます。</p>	
<p>3</p>	<p>パウダーキャニスターとパウダーシューターを持ち上げて 取り外します。 取り外した下に零れたパウダーがある場合は、 清掃用ハケで取り除いてください。</p>	
<p>4</p>	<p>ミキサーのロックを反時計回りに回して、ミキサーカップを 取り外します。</p>	

5	<p>ミキサーカップとエア抜きラバーを取り外します。</p>	
6	<p>ミキサーカップを分解します。 エア抜きラバーを含む全ての部品をお湯に浸して清掃用ブラシセットで清掃します。</p> <p>⚠ 注意：食器洗浄機、乾燥機の使用はやめてください。 変形、故障の原因になります。</p> <p>⚠ 注意：ミキサーカップとエア抜きラバーは水分をしっかりとふき取ってからマシンに戻してください。</p>	
7	<p>上記の指示と逆の手順でマシンに取り付けます。 番号の順番にマシンに取り付けてください。</p>	
8	<p>ミキサーのロックを時計回りに回して、ミキサーカップを取り付けます。 ミキサーのチューブを差し直してください。</p>	

下記の手順に従いコーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターの清掃を実施してください。
内部を清掃する為、中に入っていた原料を一回他の器に移してください。

コーヒー豆ホッパー清掃の必要性

コーヒー豆の油脂は、コーヒー豆容器の内側に汚れとして付着します。
その汚れは、コーヒー豆の劣化を早め、コーヒーのクオリティに影響を与えます。
汚れの付着のある時は容器を掃除する必要があります。

パウダーキャニスター清掃の必要性

パウダーキャニスター内部を定期的に清掃することで、パウダードリンクが薄い、吸湿して性状が変わったパウダーの混入、
パウダー原料起因のマシントラブルなどの発生を抑制します。

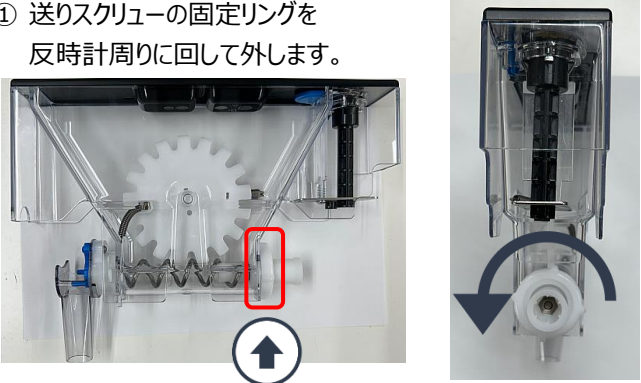
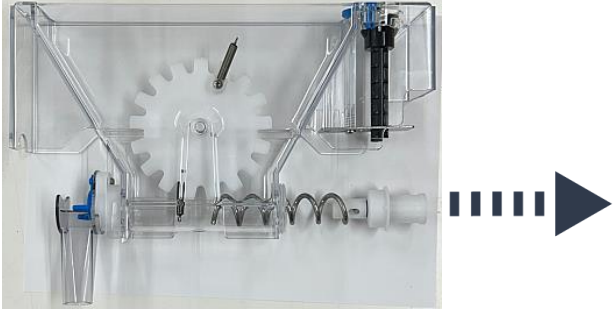
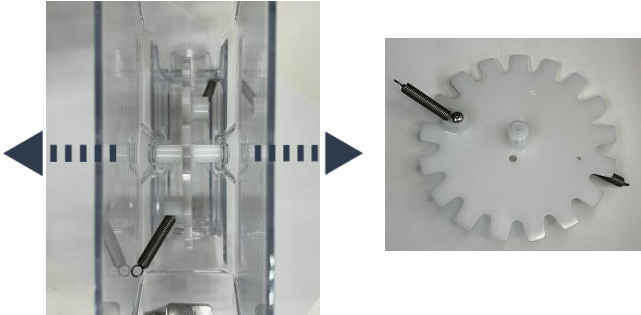
⚠ 注意事項

清掃時に食洗器に入れないでください。
容器が変色、変形する原因になります。

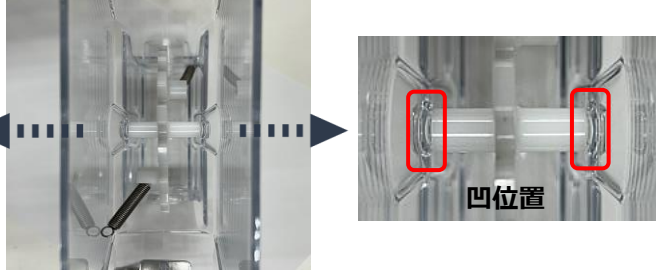


<p>1</p>	<p>コーヒー豆ホッパーを取り外します。 前面ドアキーを開けて、前面上扉を開けてください。 コーヒー豆ホッパーの下にある青いシャッターを 押して閉じます。</p> <p>⚠ 注意： 青いシャッターを完全に閉めて 持ち上げないと中にあるコーヒー豆がこぼれます。</p>	
<p>2</p>	<p>コーヒー豆ホッパーを持ち上げてコーヒー豆ホッパーを マシンより取り外します。</p>	

<p>3</p>	<p>パウダーキャニスターをマシンより取り外します。 パウダーシューターの扉を閉めてから、持ち上げてください。</p> <p>⚠ 注意：パウダーシューターの扉を閉めてから持ち上げないと、中にあるパウダーがこぼれます。</p>	
<p>4</p>	<p>コーヒー豆ホッパー/パウダーキャニスターロックキーでホッパー/キャニスターを開けます。 開けた後、青いロック保護を閉めてください。</p>	
<p>5</p>	<p>お湯と中性洗剤、付属のブラシで清掃します。 よくそそぎ、完全に乾かしてからマシンに戻してください。</p> <p>⚠ 注意：パウダーシューターの扉を開けてください。閉めたままだと原料が出てこなくなります。</p>	

パウダーキャニスターの分解方法について

<p>① 送りスクリューの固定リングを反時計周りに回して外します。</p> 	<p>② 送りスクリューを反時計回りに回しながらパウダーキャニスターより抜きます。</p> 
<p>③ パウダーキャニスター内側側面をやや広げながら回転ホイールを外します。</p> 	

パウダーキャニスターの組み上げ方法について

<p>① パウダーキャニスター内側側面をやや広げながら回転ホイールを凹位置に差込みます。</p> 	<p>② 送りスクリューを切り欠けに合わせて取り付けます。</p> 
<p>③ 送りスクリューの固定リングを時計周りに回して取り付けます。</p> 	

アラーム表示

マシンが異常を検知するとエラーメッセージが表示されます。
 エラーメッセージが表示される原因と解決策を示します。
 解決しようとした後も問題が続く場合は、弊社コールセンターへご連絡ください。

エラーメッセージについて

<p>エラーメッセージが表示されると" x " " ? "の二つが選択できます。 内容を表示するには" ? "を選択してください。</p> <p>X をタッチするとエラーメッセージは消えますが、メンテナンスメニュー内に残ります。</p> <p>アラーム表示の内容が解消されるまで再度表示されます。</p>	
<p>" ? "をタッチするとエラーメッセージの内容が表示されます。</p>	
<p>" x "をタッチするとエラーメッセージは消えますが、左上に アイコンに！マークが残ります。 パスワード「11111」を入力して OK をタッチします。 0 エラー詳細から再度エラー内容を表示させることができます。</p>	

エラーメッセージ	原因	対応
アラーム n.1 コーヒーカス箱	①コーヒーカス箱が抜けています。 ②コーヒーカス箱が奥まで挿入されていません。 ③コーヒーカス箱背面にあるカス箱検出のため突起部分が破損しており、カス箱が検出できません。	①コーヒーカス箱を空にしてから挿入してください。 ②空のコーヒーカス箱を抜いて奥まで挿入し直してください。 ③カス箱の破損によりエラーが発生してしまっている場合は、新しいコーヒーカス箱に交換してください。 「コーヒーカス箱」の表示が消える際に、カス箱カウンターがリセットするため、カスが残った状態のカス箱を戻してしまうと、容量を超えてあふれてしまう恐れがあります。カス箱を引き抜いたらすべて捨ててください。
アラーム n.1 ES コーヒーカス箱が満杯です	コーヒーカス箱が満杯です。 カス箱カウンターリセットから規定数の 50 杯に到達すると満杯検知します。	コーヒーカス箱を引き抜き、コーヒーカスを廃棄してから元の位置に戻してください。(P16 参照) カスが残った状態のカス箱を戻してしまうと、容量を超えてあふれてしまう恐れがありますので、カス箱を引き抜いたらすべて捨ててください。
アラーム n.6 前面ドアが開いています	ドアロックが解除され前面ドアが開いています。 ドアキーのロックが不十分でドアロックが検知できません。	前面ドアを閉め、ドアキーをロックしてください。 ドアキーを解除して扉を開けてから、マシン内部の部品が正しい位置に取り付けられていることを確認してください。
アラーム n.1 排水トレイが満水です	排水トレイが満杯です。 排水口へ直結の場合は、排水が詰まっている可能性があります。	排水トレイ抜き、トレイを空にして清掃後、再度挿入してください。 排水直結の場合、詰まらない様にコーヒー、お湯以外は流さないでください。 ホースの勾配が取れているか確認してください。
アラーム n.1 排水トレイを挿入してください	①排水トレイが抜けています。 ②排水トレイが奥まで挿入されていません。 ③排水トレイ後部にある排水トレイ検知板が接触不良を起こし、検知できません。	①排水トレイを挿入してください。 ②排水トレイを抜いて奥まで挿入し直してください。 ③排水トレイの検出板を食器用洗剤と食器用スポンジで擦り洗いしてください。
アラーム n.1 コーヒー豆無し 1 コーヒー豆無し 2	コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆がありません。 コーヒー豆ホッパーストップパーが開いていないため、適量の豆が挽かれませんでした。 コーヒー豆ホッパー内の原料の滑りが悪いか内部に異物が混入したため適量の豆が挽かれませんでした。 内部の滑りが悪いか破損により適量の豆が抽出ユニットに供給されませんでした。 1 = 右側のコーヒー豆ホッパー 2 = 左側のコーヒー豆ホッパー	コーヒー豆が無い場合 コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆を補充してください。 蓋を開けて補充することでエラーメッセージが解消されます。 豆ホッパーストップパーを手前に引いて開けてください。 コーヒー豆が有る場合 ①主電源スイッチを切ってから、各豆ホッパー内の原料を攪拌し、異物がある場合は取り除いてから主電源スイッチを入れてください。 ②主電源スイッチを OFF してから、シューターに豆の油や微粉が付着している場合は取り除いて清掃し、主電源スイッチを ON してください。

エラーメッセージ	原因	対応
アラーム n.3 パウダーキャニスター-1	左側のキャニスターが外れています。	パウダーキャニスターを正しく取り付けてください。
アラーム n.2 パウダーキャニスター-2	右側のキャニスターが外れています。	パウダーキャニスターを正しく取り付けてください。
アラーム n.5 コーヒーホッパー-1	右側のコーヒーホッパーが外れています。	コーヒー豆ホッパーを正しく取り付けてください。
アラーム n.4 コーヒーホッパー-2	左側のコーヒーホッパーが外れています。	コーヒー豆ホッパーを正しく取り付けてください。
アラーム n.4 フローセンサー	<ul style="list-style-type: none"> ① マシンに供給されている水道管の手動弁が閉じている。 ② 水の流量が少ない。 ③ 断水している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 背面の電源スイッチを切って、マシンに供給されている水道管の手動弁が開いていることを確認後、背面の電源スイッチを入れてください。 ② 背面の電源スイッチを切って、給水ホースが折れていないこと、浄水器のフィルターが詰まって流量が減っていないことを確認後、背面の電源スイッチを入れてください。 ③ 背面の電源スイッチを切ってください。断水が解消してから背面の電源スイッチを入れてください。
アラーム n. エスプレッソグループエラー	抽出ユニットで問題が発生しました。	<p>コーヒーマシンを再起動してください。</p> <p>改善されない場合は、弊社コールセンターへご連絡ください。</p>

トラブルシューティング

こんな時は	確認をするところ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ① マシンの主電源スイッチが OFF「0」位置になっていないか確認してください(P8 参照) ② コンセントあるいはマシン背面の電源プラグが抜けていないか確認してください(P8 参照) ③ コーヒーマシン用の電源ブレーカーが落ちていないか確認してください
マシン下より水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ① 排水トレイがきちんと挿入されているか確認してください(P16 参照) ② パウダー用ミキサー部が正しく接続されていない可能性があります 一度外して取り付け直してください(P21 参照) ③ 排水ホースが詰まってないか確認してください 牛乳などを排水トレイに流しますと、脂肪分が固まり流れ難くなります 流さないようにしてください ④ 抽出ユニット/ミキサー部のチューブが抜けている可能性があります 接続状況を確認してください
コーヒークラス箱にカス箱に液体が溜まる コーヒークラス箱のカスが水っぽい	<ul style="list-style-type: none"> ① コーヒー抽出ユニットの上ピストンが詰まっている可能性があるため、上ピストン底の金属フィルターをペーパータオル等で拭ってください ② 抽出ユニット/ミキサー部のチューブが抜けている可能性があります 接続状況を確認してください ③ パウダー用ミキサー部が正しく接続されていない可能性があります 一度外して取り付け直してください(P21-22 参照) ④ マシンのオールインワンクリーニングを行ってください(P18 参照)
コーヒークーの味が薄くなった	<ul style="list-style-type: none"> ① コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆が入っているか確認をしてください(P9 参照) コーヒー豆ホッパー内でコーヒー豆の油分により固着している可能性があります ② ホッパー内の攪拌及び清掃を行ってください(P23-24 参照) コーヒー豆ホッパー内に異物(コーヒー豆の袋等)が入っていないか確認してください ③ シューター内でコーヒーの粉が詰まっている/溜まっている可能性があります シューターの清掃を行ってください(P19 参照) ④ マシンのオールインワンクリーニングを行ってください(P18 参照)
コーヒークーの出方が悪い コーヒークーの量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ① コーヒー吐出口の清掃を行ってください ② コーヒー抽出ユニットの上ピストンが詰まっている可能性があるため、上ピストン底の金属フィルターをペーパータオル等で拭ってください ③ 抽出ユニットのチューブが抜けている可能性があります 接続状況を確認してください ④ マシンのオールインワンクリーニングを行ってください(P18 参照)

こんな時は	確認をするところ
ミルクの量が少ない ミルクの泡立ちが悪い	① ミルクが十分に冷えている（10℃以下）か確認してください ② ミルクチューブに折れ曲がりがないか確認してください ③ マシン内部のカリミルカーに接続するチューブに抜けがないか確認してください ④ マシンのオールインワンクリーニングを行ってください(P18 参照)
コールドフォーム(冷たい泡立ちミルク)の泡立ちが悪い	① ミルクが 1℃～3℃に冷えているか確認してください 冷蔵庫からミルク保冷庫に移した直後だと、ミルクが冷え切っていない為、泡立ちが悪くなる可能性があります その場合は冷えるまでお待ちください
パウダーメニューの抽出量が少ない パウダーメニューの味が薄い	① パウダー(原料)がパウダーキャニスターに入っているか確認してください ② パウダーキャニスターがマシンに正しくセッティングされているか確認してください ③ ミキサーが正しく取り付けられているか確認してください ④ ミキサーのチューブが正しく接続されているか確認してください
パウダーメニューの出が悪い	① パウダー出口の清掃を行ってください ② パウダー用ミキサー部を外して、内部に詰まりがないか確認してください(P21-22 参照)
ミルククーラーの電源が入らない ミルククーラーが冷えない	① ミルククーラーの電源スイッチが入っているか確認してください ② 電源プラグをコンセントから、一回抜いてから差し直してください ③ プレーカーが落ちていないか確認してください ④ ミルククーラーの吸気フィルターに埃等が詰まっていないか確認してください ミルククーラーの吸気口に物が置かれていないか確認してください
電源を入れてメニュー画面が立ち上がった時にクリーニングリマインダーが表示される	① 終業後、オールインワンクリーニングを実施していなければ、確認を押してオールインワンクリーニングを実施してください。(P18 参照) ② 終業後、オールインワンクリーニングを実施している場合は確認を押して、右上のバックを押してください。 パスワードを要求されます。 「33333」を押して OK を押してください。 メニュー画面に復帰します ※スキップをタッチするとメニュー画面に戻りますが、電源 ON/OFF 後、再度クリーニングリマインダーが表示されます

消耗品について

以下、消耗品、スベア部品を取り扱っております。
販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。

商品コード	名称	画像
93000	マシンナー(2g) 100 錠入り	
93100	JP ミルクチューブクリーナー (1L)	
93130	清掃用ブラシセット(4本組)	
904112	CR 清掃刷 95.00678	
9100055	JP ミルクライン洗浄用ボトル	

商品コード	名称	画像
9501802	CR 前面トマ用キ- 1本 95.01802	
9505200	CR 蓋用キ- 1本(ホッパ ー、キャスター共 用)95.052	
3705355	CR カミシク 37.05355	
3705281	CR BD 豆ホッパ-スッパ ー 37.05281	

<< XE >>

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

- 取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。
- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
 - 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
 - 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間：365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 SilverAce Plus |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況（出来るだけ詳しく） |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)

型 名		
シリアル番号		
保証期間		ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日		年 月 日
※ お 客 様	お 名 前	
	住 所	〒 電話 ()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由のないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由のないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要となる費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態を確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
 神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>

